

令和7年度 土浦日本大学高等学校通信制課程自己評価結果

令和8年度 取組目標とその方策

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育活動 (教務)	生徒の進路目標に即した学校生活の充実を目指した教員の資質の一層の向上	生徒一人一人の学校生活の充実を目指し、教科指導、学校行事、学習環境、教育相談体制について振り返りながら改善する。 生徒理解の推進を図る目的で校内研修を計画し、教職員の資質向上を図り、生徒指導、学習指導等で生徒に還元できる体制を整備する。	年度の途中でも、個々の生徒の体調を十分把握しながら必要に応じてメディア活用クラスへの移行をを促すことでスムーズな単位修得を実践する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教科指導 (教務)	学習指導要領に即した個別の学習指導の推進 メディア活用クラスの運用の再検討	生徒一人一人の進路目標を正確に把握し、目標に即した学習内容で進路指導及び学習指導を推進する。特に、学習が定着していないメディア活用クラスにおけるレポートやスクーリング内容を検討し、個に即した学習指導の体制を構築し、運用する。 年度の途中においても改善できる内容では、常に改善を図る。	通年、学年会や教科会を通して生徒の取組状況を共有し、個に即した課題解決を図る。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
学校生活への配慮 (生徒指導)	①生徒の把握	個々の生徒が抱えている課題は様々である。担任を軸として養護教諭、スクールカウンセラー、教科担当者と情報（観察、声掛け、面談等の結果）共有を図り、個々の課題を明確にして、全教職員で対応する。家庭との連携も密にする。	年間を通して取り組む。
	②挨拶の励行	生徒にしっかりと寄り添った指導として登下校時の挨拶（声掛け）を励行し、生徒にとって安心・安全な環境整備を図り、信頼関係を構築する。	年間を通して取り組む。
	③いじめの根絶	多感な生徒も多数在籍しており、アンケート等を活用した『早期発見』、『適切な対応』、『再発防止』だけでなく『未然防止』の視点から、あらゆる教育機会に全教職員が注視する体制で取り組む。また、カウンセラーとの連携を図り、個々の課題に寄り添う指導を目指す。	年間を通して取り組む。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
進路指導	①日本大学付属推薦や他大学受験への適切な指導	基礎学力到達度テスト1か月前から実力養成講座を計画、実施し、生徒の学力や意欲の向上を図る。また、指定校推薦、公募推薦に必要な書類（志望理由書）作成、論文指導、面接指導も個々に対応する。推薦書や調査書の処理についても万全な体制で臨み、生徒の意思確認等を確実に行之、進路目標を達成できるよう指導する。	日本大学からの情報は迅速にクラスルームや面談等を通じて生徒、保護者に確実に伝える。 教職員へは教職員会議・朝会で伝達し、共通理解を図る。
	②全日制課程開催の日本大学出張講義、オープンキャンパス等への積極的な参加	通信制の生徒に全日制で実施する進路講演会、ガイダンス等への参加を促し、自己目標達成のための体験的な機会とする。 生徒の進路目標を達成するために、オープンキャンパス等への積極的な参加を促し、志望校選定のための情報収集を推奨する。	年間行事予定に即して実施する。
	③専門学校、就職のための適切な進路指導の充実	個々の目標に即した専門学校、就職のための情報提供やオープンキャンパス、職場体験を通した寄り添った指導を徹底する。また、必要書類（志望理由書）作成や、論文指導、面接指導の充実を図る。	進路に対する情報を発信し、様々な方法の試験にも対応できる指導を徹底する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育相談	生徒の学校生活への適応支援の充実	普段の学校生活では担任の面談、養護教諭の健康相談等により生徒を支えているが、生徒の状況や希望によりスクールカウンセリングの活用を促す。その際、対面、Web面談等の日程を調整し、実施の際には可能な限り教員を同席させる。また、教育相談体制を保護者にも周知し、家庭との連携を図る。 必要な生徒には個別指導計画を立案し、ケース会議の開催や外部機関との連携を推進する。	生徒個々の状況に応じて適宜対応する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
いじめ防止対策	いじめの未然防止	現在まで本課程ではいじめ等の事案は確認されていない。しかし、在籍生徒の増加により級友との人間関係が広がりを見せている。学校生活等からの情報を収集、いじめ防止アンケートに実施、活用を図り、『未然防止』を指導の軸として、情報の集約、養護教諭、カウンセラーとの連携で協働を図る。 事案が発生した場合は、生徒、保護者に面談、聴き取りを行い、把握した事案に対しては直ちに調査・認定・対応策を検討し、被害生徒の支援を最優先しつつ、加害生徒も配慮する。また、関係保護者と情報を共有し、家庭における支援・指導を要請する。 重大事態が発生した場合は全日制のいじめ防止対策室と連携し、県への報告、外部有識者の招聘して対応に当たる。また、犯罪行為の場合は警察とも連携する。 様々な事案に対して再発防止策を検討・実施し、発生した事案を全教職員が共有し、同種事案発生防止に取り組む。 いじめ問題に対する教職員の意識を向上させ共通理解を深めることを目的として、定期的に問題提起や情報提供を行う。	生徒個々の状況や事案に応じて適宜対応する。
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
広報 (情報入試)	①新入生、転籍、転学の生徒確保の推進	右叻桜キャンパスを活用し、新入生、転学生確保に向けて進路相談会を延べ11回実施する。 中学校、高等学校の状況等を把握し、訪問することで本校の特色を広報する。また、年度の途中に転籍、転学者を想定して、高等学校訪問を計画的に取り組む。 通信制課程連絡協議会合同説明会、私学フェア等への参加、ホームページのリニューアル、学校案内のリニューアル等により、最新の情報を広報、周知することに努める。 個別相談体制を充実し、より多くの受験生・保護者に来校を促し、受験生、転入生の要望に即した内容（メディア活用クラス等）を示し、生徒数確保に努める。	通年：計11回の進路相談会開催 通年：中学、高等学校訪問 通年：HPの更新、情報発信 通年：計3回の訪問チラシ作成 2月～4月：学校案内作成 1月～：入学試験
	②インターネットを活用した生徒募集活動	インターネットを活用した生徒募集活動をさらに推進する。 ホームページの刷新、情報発信により、入学、転学希望者や保護者に最新の情報を発信する。	年間を通して実施
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
管理運営 (事務)	①校務運営の円滑化	入学式、卒業式、校外学習、キャリア教育等を教学部門・全日制課程と連携し、円滑な実施を図る。また、新入生、転籍・転入生の増加を期すため、教育システムの充実、学校案内・ホームページリニューアルなど必要な予算を確保するとともに、教学部門・入試広報との連携を図る。	1年間継続して取り組む。
	②教育環境の充実・維持	右叻桜キャンパスでより充実した教育活動・募集活動が推進できるように、学校説明会で利用できる面談室の整備、自習環境の充実、保健室等の環境整備を図る。	計画的に進めると同時に、安全確保を最優先に取り組む。